

【CQ1 エビデンス総体】

診療ガイドライン	Hand-held (用手的)超音波検査は乳がん検診として推奨されるか？
対象	一般リスク検診受診者
介入	Hand-Held超音波検査 (MGと併用、または超音波単独)
対照	マンモグラフィ検診

エビデンスの強さはRCTは"強(A)"からスタート、観察研究は"弱(C)"からスタート

* 各ドメインは"高(-2)"、"中/疑い(-1)"、"弱(0)"の3段階

** エビデンスの強さは"強(A)"、"中(B)"、"弱(C)"、"非常に弱(D)"の4段階

*** 重要性はアウトカムの重要性 (1~9)

エビデンス総体

アウトカム	研究デザイン/ 研究数	文献管理番号	リスク人数(アウトカム率)							対照群 (MG)分 母	対照群 (MG) 分子	%	介入群 (US)分 母	介入群 (US)分 子	%	介入群 (MG+ US)分 母	介入群 (MG+ US)分 子	%	効果指 標(種 類)	効果指 標統合 値	信頼区 間	エビデ ンスの強さ **	重要 性***	コメント
			バイ アスリ スク*	非- 真性*	不精 確*	非直 接性*	その他 (出版バ イアス など)*	上昇要 因(観 察研 究)*																
感度上昇	RCT/1 コホート/0 観察研究/2	P1-10 (RCT)	0	0	0	0	0	0	152	117	77%	202	147	73%	202	184	91%				強(A)	8	感度上昇に関して3件の研究報告があり、MG検診と比較して超音波単独では感度は同等もしくは低下、併用法にて上昇する	
		P1-30 (観察)	-1	-1	-1	-1	0	0	33	25	85%	33	24	73%	33	31	94%				弱(C)			
		P1-37 (観察)	0	0	-1	-1	0	0	13	8	62%	13	7	54%	13	11	85%				弱(C)			
死亡率低下	RCT/0 コホート/0 観察研究/0																					7	死亡率低下減効果に関して公表された研究は存在しなかった	
再発率減少	RCT/0 コホート/0 観察研究/0																					7	再発率の減少に関して公表された研究は存在しなかった	
受診者の意向 (安心感)	RCT/0 コホート/0 観察研究/0																					3	受診者の意向、安心感などに関して行われた研究は存在しなかった	
偽陽性増加	RCT/1 コホート/0 観察研究/2	P1-10 (RCT)	0	0	0	0	0	0	35960	3036	8.4%	36639	2289	6.2%	36639	4463	12.2%				強(A)	3	US単独での偽陽性率はMG単独検診のときと有意差はないが、MG,US併用検診では偽陽性率は上昇する	
		P1-30 (観察)	-1	-1	-1	-1	0	0	2995	48	1.60%	2995	19	0.63%	2995	59	1.97%				弱(C)			
		P1-37 (観察)	0	0	-1	-1	0	0	3440	271	7.9%	3440	158	4.6%			11.6%				弱(C)			
検査時間の増加	RCT/0 コホート/0 観察研究/0																					2	検査時間の増加に関する考察はいずれの論文でも記載がなかった	
費用の増加	RCT/0 コホート/0 観察研究/0																					2	費用の増加に関する考察はいずれの論文でも記載がなかった。	